

文化遺産がつなぐ 世界と日本

——保存・修復・活用と国際交流——

<プログラム>

12:30 開場

13:00 開会

日時：12月10日（日）

12:30 開場 / 13:00 開会

場所：甲南大学岡本キャンパス

iCommons 地下1階 iStage

文学部独立 60 周年記念シンポジウムの開催によせて

趣旨説明

13:20 報告1 ファブリツィオ・ズラヴァッツィ(ミラノ大学)

「イタリアにおける修復の原則

～考古学分野での修復・自然災害・戦争被害～」

14:50 報告2 ロッセッラ・メネガッツォ(ミラノ大学)

「イタリアにおける日本美術の普及促進と意義づけ」

16:30 全体討論 論点開示 田口かおり(東海大学)

17:30 閉会

私たち一人一人を歴史と文化につなぐ文化遺産ですが、国際化する現代、国境を越えて共に生きる私たちが文化遺産に関わるとはどのようなことでしょうか。海外での文化遺産への考え方と実践を知り、同時にその一つとして日本の文化財が海外でどのような努力に支えられているかを知ることが大切なヒントになるでしょう。文化遺産の国・イタリアから二人の専門家をお招きし、ともに考えます。

※当日はイタリア語・日本語通訳がつきます。